



# V.VALUE

is



~V.Schoolの  
先生たち~



思索と創造の  
ワンダーランド

# V. Schoolの先生たち



こくぶ かつ彦  
**國部 克彦**

神戸大学大学院経営学研究科教授  
V. School長

**専門**

社会環境会計, 環境管理会計  
環境経営, 経営分析, CSR経営

- 企業の環境経営を促進するマテリアリティ-2社会計を中心とした環境管理会計の開発・体系化。CSR(企業の社会的責任)経営の理論的基礎と社会・環境情報開示の制度分析。
- マテリアリティの理論研究。会計現象の社会学的分析などなどを行う会計学・経営学の権威。
- 環境経営・会計に関する工学的研究と会計理論に関する哲学的研究の融合を目指している。

## どんな先生??

ただただおたから、V. School長  
として、学生たちの面倒看直し  
の場にはいつも足と運んでくださる。  
学生たちのちょっと米目崩りな考えにも  
いつも前向きな言葉をかけてくださる。  
熱が入ると難解な哲学理論も展開する。  
学生の聞いた口が閉まらなくなることも...!?

↓  
「布いとうやまのルネ・マリアットの祭会(國部先生  
ユレシヨウ)」



# 研究内容

## ◆ 創り型責任経営

あたらしいつくりの経営モデル  
SDGsと効果的に推進する新しい  
2つの視点の理念と実践を  
先進事例に促して提案!!



(unic.or.jp #1)

## ◆ グリーンイノベーション

環境・エネルギー問題に対応しつつ、  
同時に経済発展と達成する政策と、  
それを実現するための革新的技術を開発  
「グリーン・イノベーション」を経営学  
の視点から究明。



## ◆ CSR

広範なCSRの領域と企業からの  
視点と社会からの視点の双方から  
アプローチとして、ロジックを重視して解説。

Corporate  
Social  
Responsibility

月々の人が常識と考えていることは  
意外に真実とはありまじいものがある  
とすることは真実と覆い隠すために  
作用していることが多々あるので、  
教養にも重なり合ったベールと剥き出し、  
社会と駆動させていることが多くに  
違ふことが、学問に結果を出す使命です。



# V. Schoolの先生たち



たまき ひさし  
玉置 久

神戸大学大学院システム情報  
学研究科 情報科学専攻教授  
V. School 価値創発部門長

専門

システム科学/工学 etc...



- システム科学/工学, 情報通信, 知能情報学, 最適化, AI/ML/データ
- 創発的課題解決・X97ユースティクス, ものづくり技術(機械, 電気電子, IT等)
- 制御システム工学 などの研究を主にしている。とっも偉い人。現在, 計測自動  
制御学会の理事(部門協議会)を務めている。

## どんな先生?

ありとあらゆる学会の会長や理事を  
歴任している。アカデミックの最先端を  
常に走り続けている。

その中で、生徒に様々な機会、チャンス  
を与えてくれます。

研究室では毎年お正月会が  
開催されており、学生たちから愛されている  
先生です。

現在、体育会自動車部の顧問を務めて  
おられ、なんと学生時代はラリーセフトラ  
といったモータースポーツをやっていたそうなんです！





# 研究内容

## ◆ 最適化

勤務計画の最適化や、環境問題の背景としたエネルギーシステムの運用最適化など、工学システムや社会システムを対象とした構成・運用の最適化問題をベースに、創発的な問題解決アプローチの研究を行っている。



## ◆ シミュレーション

高速道路交通システム、生産システムなど最適な手法を提案しシミュレーションすることを通じて研究を行っている。



直近の研究成果として、「機械学習のための数値計画モデル - 大規模施設における適応的座席配分計画」がある。

今年に最適化、価値創出! という観点でCPSやIoTなどの情報技術を用いたシステムのポテンシャル向上やシステムのパフォーマンスをより引き出し、持続させるためのアプローチを考えたり、「システム思考」を顕在化させるための方法論の研究をしています!



# V. Schoolの先生たち



くろ ね けん じ  
黒那憲治

経営学研究科 / 科学技術  
イノベーション研究科 教授  
V. School 価値設計部門長

## 専門

アスレチクス・フィットネス、アスレチクス・リハビリテーション、イノベーション、ファミリー・ビジネス

- スポーツやファミリー・ビジネスでの事業における価値創造や企業士の企業家精神をはじめの破壊的イノベーション、地方創生のための事業創出などを研究している先生。地方創生やイノベーションについて数々の著書が出版されている。教育・研究・実践と幅広くイノベーションを研究している価値設計のトップエグゼクティブ。

## どんな先生？

愛媛県出身で、名字の「黒那」は、歴史ある食糧産地!! お酒、陶芸、音楽世界の動物園が好き。◇◇

学生時代に99%の干渉を写してくちていて、アスレチクス・リハビリテーションで学び実践する機会を積極的に提供してくける素敵な先生です。

海外の大学や実業界とのつながりが99%、国産アスレチクスの種と超えた知識と経験を提供してくります!!!!





# 石研究内容

## ◆アントレプレナーシップ

企業家活動(アントレプレナーシップ)を通じたイノベーション創出と研究。  
アントレプレナーシップについて、机上の論議だけでなく、実践とあわせて具現化している。



## ◆イノベーション

日本経済の活性化と地方創生のために欠かせない、イノベーションの研究を行っている。



## ◆アントレプレナーファイナンス

事業の創出に欠かせない重要な役割をもつベンチャーキャピタル、IPOやM&Aなどのファイナンス(金銭)の研究を行っている。



「恩那(くつな)」私の名字には「石」が「ない」と  
字がよか正しく読んでもらえません...。  
愛媛県伊予灘に囲って一連の群島、恩那  
七島が浮かぶ、その中心、中島が私の  
出生地です。水軍(海賊?)ですが、  
私自身とんぱに野暮ではありませぬ^^  
お酒、音楽、スポーツ、をして研究。なまご  
一流のものにはいかなこととモットーにしてあります!



# V. Schoolの先生たち



さか い たか ゆき  
**坂井 貴行**

V. School 教授

株式会社神戸大学イノベーション

代表取締役社長

大学院科学技術イノベーション研究科

科学技術イノベーション専攻

**専門**

デザイン×システム思考と科学技術の  
商業化、技術イノベーション

- アカデミアと企業をつなぐ"善処"の取組を進めている。これまで  
● 大学の研究者の方から2600件以上の発明開示を受け、149件の  
特許と企業へライセンス供与、16件の事業化を行っている  
● 大学や企業等への知識的資源の融合を目指す...!

## どんな先生?

学生さん達とたくさん話したいのぼしとくち。  
謙虚で優しい先生。学生さんをよくみて  
くちといてイザリもたのしく、親しみやすい  
先生でもあります。

実はラケットの3強豪校出身のスポーツ  
マン。たくましい身体つきをして  
いざいざいよります ^^







# 研究内容

## ◆ 人文・社会 / 経営学

振替銀行経営改革により、経営の自立化・健全化へ導いた事例は、日本の知財活動、並びに技術移転活動のモデルとなる内容が多く含まれている。



## ◆ 技術移転

TLO(技術移転専任機関)と呼ばれる機関は、京都大学、大阪大学、岡山大学など関西の大学の研究成果の技術移転に取り組んできた経験があり、産学連携の取り組みを行っている。



## ◆ イノベーション

大学発ベンチャーの経営者に必要な素質と能力の解明。フアンシー-ビジネスにおけるイノベーションを通じた地方創生の実証実験等を行っている。



とくに最近では、技術移転における上市の決定要因や産学連携部門・TLOの組織作りなどの解明など、価値創造に関わるヒトや組織構築に主眼した研究をおこなっています。ちなみに、私は元ラヴビ-のセミワーカーでした...!!



# V. Schoolの先生たち



ふ、じい のびたて  
藤井 信忠

V. School 准教授  
大学院 システム情報学 研究科  
システム科学 専攻  
教壇 データサイエンス センター

専門  
システム科学、情報知能工学 etc...

- システム情報学の先生、7万人が集まった「UDC神戸078」のセンター長としての顔も持っている。神戸で「若者に選ばれよう」というための活動を行っている。そのほかに「まちづくり」。幅広い知識を持つ70代前半の先生。

## どんな先生?



実践的で「おもしろい授業としてくれる先生で、学生たちの柔らかな発想と活かし受け入れてくれるやさしい先生。アドバイスはとっても適確です!!」

THINK TANK の「おもしろい授業」(P072)活動にも柔軟な理解を示して頂いてあります。IT情報系の知識が幅広く、しかもとて他強になります...!!

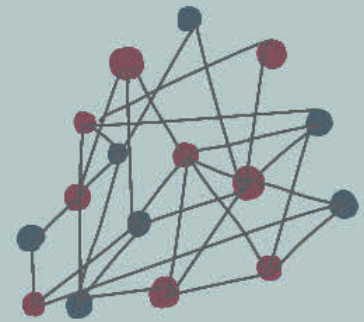




# 研究内容

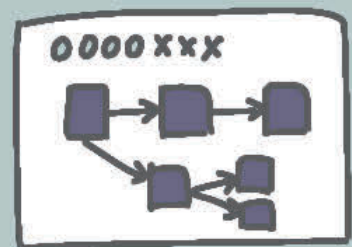
## ◆ サービス工学

サービスの価値の創出を目指し、サービス・システム・デザインの方法論の構築を目指している。複雑ネットワーク (complex network) という学問を通じて、複雑な統合サービスの普及についてさまざまな研究を行っている。



## ◆ 生産システム

モノ・バリューチェーンネットワーク、ロジスティクスネットワークについて作業場や工場での最適な配置の提案など、分散型システム・コミュニケーション、ニューラルネットワーク等の技術を用いた研究を行っている。



2019年01月18日、富士通総研と神戸大学が「未来のありたい姿」を導く未来予測+簡易検証手法「Insight Out」と発表。

技術には生死の谷がある。大学の研究者は、事業化が容易なわけではないので、大学側と企業側との求める技術レベルの認識の差が大きい。そのための産学連携とは？ 市民とどう関わる社会的価値は？ などと考えることも重要である。^^



## V. Schoolの先生たち



つる た ひろ き  
窪田 宏樹

V. School > 准教授  
工学部市民工学科, 大学院工学  
研究科 市民工学専攻, 数理・化学  
科 11202009-1, 地球環境推進室  
安全保障輸送管理室

**専門**

農学, 経営・産業 / イノベーション, バイオ産業論  
企業社会学, 生物化学, 分析化学 .. etc



- 農業化学に関する研究に加えて、価値創造、イノベーションに関する研究を行っている先生。研究内容は、農学、生物学にとどまらず、経営学の分野などにも幅広く取り組まれている。学生とたくさん関わりを持って下さる先生。



## じん子先生?

「つるつる」と口平ばか、学生がらとて石  
親しきかといはず。学生たちの研究や  
価値創造に知れど、いつも全面的に  
サポートくださるあり、V. Schoolの  
大きな精神的支柱となつて下さいます!!  
いつも V. School 1Fの神戸港と大甲山  
を眺める 自化望館の特等席に陣取り、  
優雅な毎日を過ごさかといはず... ♪





# 研究内容

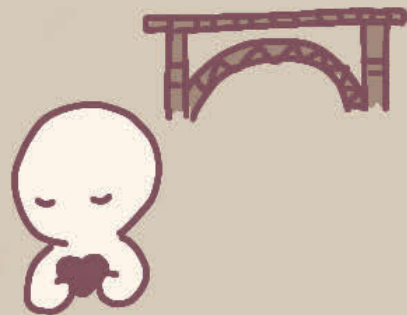
## ◆ イノベーション教育

現代の不確実性の高い社会に出て、その変革と任せていく学生に求められる、価値創造「イノベーション」の能力。その能力を身につけた人材を育てることについて研究を行っている。



## ◆ 社会基盤 (土木・建築・防災)

建築計画、都市計画、レジリエンス社会システムの工学、価値工学など幅広い社会基盤と取り組む。



## ◆ 生物学

低温で活躍に役立つ「コールド活性酵素」の仕組みを世界で初めて発見するなど、酵素やウイルスなどの生物に関わるテーマの最先端の研究を行っている。



「問いを立てる」ことの重要性、学術的な価値と社会的な価値、経済的価値など価値には多岐に亘り側面があることを理解した意味に基づいて価値創造の教育研究に関わっています!!  
音楽が趣味で、バスを弾いています^^



# V. Schoolの先生たち



ぎ かん けい こ  
祇園 景子

V. School 助教

工学部市民工学科, 大学院工学研究科  
市民工学専攻

専門

工学 遺伝子工学 / 科学コミュニケーション

- 神戸生手や神戸育ち。生命工学博士。なんと、細胞の「元原」が分かる。なんと細胞培養が得意。神戸大学大学院 工学研究科 道場「未来社会創造研究会」で価値工学を研究している。知識・情報や思考プロセスを構造化して、それを価値工学や生命工学と組み合わせると新しい知見を導くことと目指す。

## どんな先生?

美観の裏に隠された厳しい指導に定評があります! 生涯の提案やプランでは全く太刀打ちできません。しかし、さらにその裏には学生たちには見えにくい弱点や思考の昆と的確に見抜き、よりブラッシュアップへと仕上げよう高等テクニックと持ちあわせています。各生徒ごとの性格や癖も見抜き、さらに成長するためのヒントと与えてくれます。



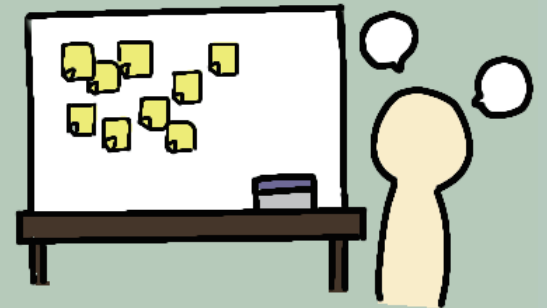
# 研究内容



## ◆ EARTH on EDGE コンソーシアムにおける 社会起業家人材育成プログラム開発の試み

- 評価・分析編
- フレームワーク、プランニング・ネットワーク関係編
- コンテンツ開発編
- コンセプト開発編

課題解決・価値創造の「考え方の考え方」  
デザイン思考などを用いる。



## ◆ 未来のイヒ学工場と考えるプロセスの設計

## ◆ 学生とのつながりによるアティグラーニング授業の設計

Why?  
What?  
How?

遺伝子組換え植物の開発に長くに従事  
した後、2014年に突然デザイン思考に基  
づくワークショップのファシリテーター  
になりました。以来、生き物の元気が  
伝わる特長と魅力があり、多様な  
参加者が生き生きと円滑に  
コミュニケーションがとれるように  
ワークショップを設計・運営する  
ことに向いていく予定です。  
その延長線上にある科学コミュニ  
ケーションという分野に興味を  
もち、取り組んでいます。



V.がめざすのは、

— **avant-garde**

実験的、挑戦的、そして枠にとらわれないこと

— **inclusion**

多様性を包含した社会を俯瞰し、多様性を尊重すること

— **happiness**

人の希望を叡智をもってかなえること